

進学センサス2019

2019年6月26日

「アドミッション・ポリシー」編

株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ

85%の高校生が大学の『アドミッション・ポリシー』(入学者受け入れ方針)を認知

— 高校生の進路選択に関する調査「進学センサス2019」より —

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都品川区 代表取締役社長：柏村 美生）が運営する、リクルート進学総研（所長：小林 浩）では、高校生の進路選択の現状を明らかにするため、進路選択行動の時期やプロセスを中心に、進路選択に際しての情報源、学校主催イベントについての調査を実施いたしました。このたび調査結果がまとまりましたので、一部をご報告いたします。本調査によるリリースは「オープンキャンパス」編、「アドミッション・ポリシー」編の計2つあり、本リリースは「アドミッション・ポリシー」編です。

アドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)の認知度

■ 高校生の85%が『認知』している（高校教員認知度 91%）

・男女別にみると、女子が男子より6.3ポイント高い。（男子 81.8% 女子 88.1%）

■ アドミッション・ポリシーの認知・計のうち、「名前も意味も知っており、個別大学も調べたことがある」高校生は51%

志望校検討時におけるアドミッション・ポリシー役立ち度

■ 「個別大学について調べたことがある」高校生のうち、80%が“志望校検討時”にアドミッション・ポリシーは役立ったと回答（高校教員「進路指導で活用」は57%）

進学関連情報で知りたかったこと

■ 進学関連情報で最も知りたかったことは「学校で勉強できる内容」

- 1位：「学校で勉強できる内容」(76.2%)
- 2位：「入試の方法や難易度」(62.9%)
- 3位：「キャンパスの雰囲気」(53.9%)

■ 『認知』が8割を超えた「学校のアドミッション・ポリシー」について知りたいと回答した高校生は14%。認知度とのかい離が大きい

※出版・印刷物へデータを転載する際には、“「進学センサス2019」リクルート進学総研調べ”と明記いただけますようお願い申し上げます。リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 広報担当
https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【進学センサス2019 調査概要】

- 調査目的：高校生の進路選択プロセス（行動・意識）の現状を把握する
- 調査期間：2019年3月18日（月）～4月11日（木）投函締切
- 調査方法：質問紙による郵送法
- 調査対象：2019年に高校を卒業した全国の男女50,000人
平成30年度学校基本調査の「全日制・本科3年生生徒数（県別）、中等教育学校後期課程3年生」を基にリクルートが保有するリスト(※)より調査対象とする数を抽出
(※)リクルートが発行する進学情報誌「スタディサプリ進路ブック」および、配信する進学情報WEBサービス「スタディサプリ進路」（<http://shingakunet.com>）会員リスト
- 有効回答数：2,819人（回答率5.6%） うち、本プレスリリースでは大学進学者2,071人が対象

【本集計対象者（大学進学者）プロフィール】

■ 性別（大学進学者／単一回答） （％）

	調査数	男子	女子	無回答
2019年 大学進学者 全体	2071	47.1	52.4	0.4

■ 進学先学校に合格した入試方法（大学進学者／単一回答） （％）

	調査数	一般入試	センター試験 利用入試	推薦入試 （公募）	推薦入試 （指定校）	自己推薦 入試	AO入試	その他	無回答
2019年 大学進学者 全体	2071	49.7	7.2	11.8	17.1	1.3	8.8	2.8	1.3
2016年 大学進学者 全体	3051	48.2	7.5	13.3	17.5	1.5	6.8	3.1	2.0
2013年 大学進学者 全体	3256	45.8	6.4	13.4	19.5	1.6	8.0	3.3	1.9

【2019年属性別】

男女別		調査数	一般入試	センター試験 利用入試	推薦入試 （公募）	推薦入試 （指定校）	自己推薦 入試	AO入試	その他	無回答
男子	男子	976	56.3	7.0	8.2	15.2	1.3	8.0	3.0	1.1
	女子	1086	43.7	7.6	15.2	18.7	1.3	9.7	2.6	1.3

【参考データ；高校教育改革に関する調査2018 調査概要】

- 調査目的：全国の全日制高校で行われている教育改革（高大接続改革、新しい学習指導要綱、キャリア教育、進路指導、学校改革に関する取り組みなど）の実態を明らかにする
- 調査期間：2018年10月5日（金）～2018年10月27日（土）投函締切
※10月31日（水）到着分までを集計対象とした
- 調査方法：郵送調査。校長宛に調査票を送付
- 調査対象：全国の全日制高校4,703校
- 集計対象数：1,203件（回収率25.6%）
- 調査結果URL：リクルート進学総研 WEBサイト内
<http://souken.shingakunet.com/research/2019/02/post-9b3b.html>

■ 高校生の85%が認知している（高校教員認知度は91%）

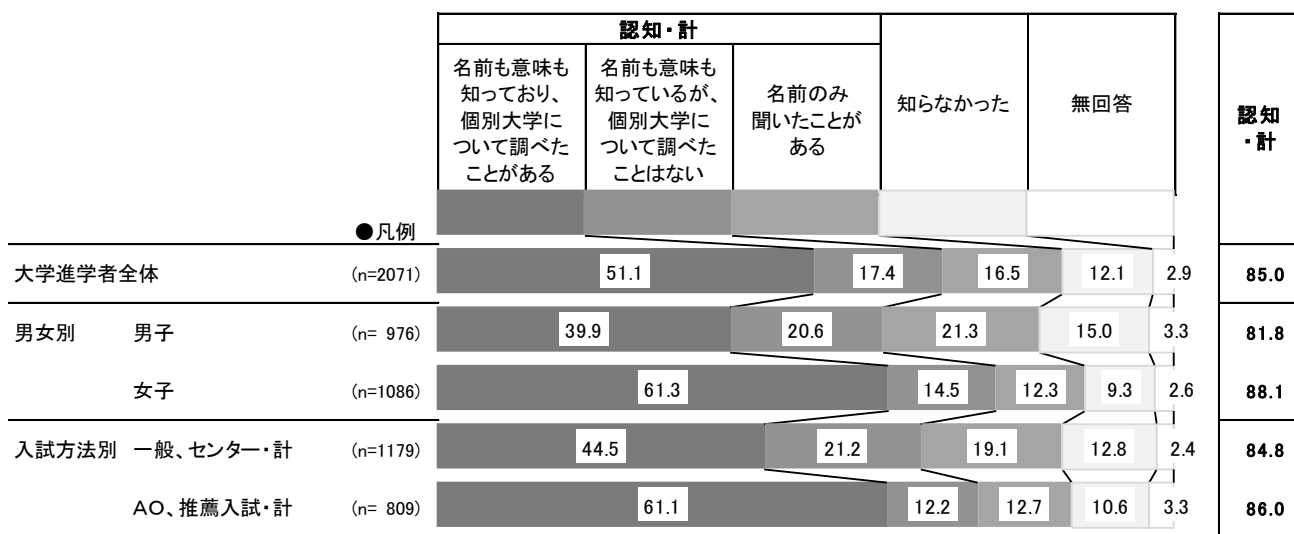
・男女別にみると、女子が男子より6.3ポイント高い。（男子 81.8% 女子 88.1%）

■ アドミッション・ポリシーの認知・計のうち、「名前も意味も知っており、個別大学も調べたことがある」は51%

・「名前も意味も知っており、個別大学も調べたことがある」と回答した高校生について、男女別にみると、女子（61.3%）が男子（39.9%）より21.4ポイント上回る。
また、入試方法別にみるとAO・推薦層（61.1%）が一般・センター層（44.5%）を16.6ポイント上回った。

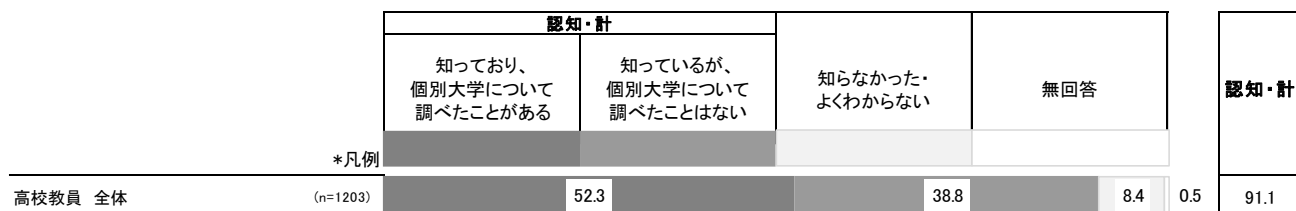
■ 「アドミッション・ポリシー」の認知度(大学進学者/単一回答)

(%)



※参考) 高校教員の「アドミッション・ポリシー」義務化の認知 (全体/単一回答)

(%)



※リクルート進学総研「高校教育改革に関する調査2018」より

参考：アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）とは

各大学、学部・学科等の教育理念、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方式）に基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学習成果（「学力の3要素※」についてどのような成果を求めるか）を示すもの。

※学力の3要素：（1）知識・技能、（2）思考力・判断力・表現力等の能力、（3）主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

→現在、全ての大学において、①アドミッション・ポリシー、②カリキュラム・ポリシー、③ディプロマ・ポリシーの3つの方針を一貫性あるものとして策定し、かつ公表が義務化されている。（2017年4月1日施行）

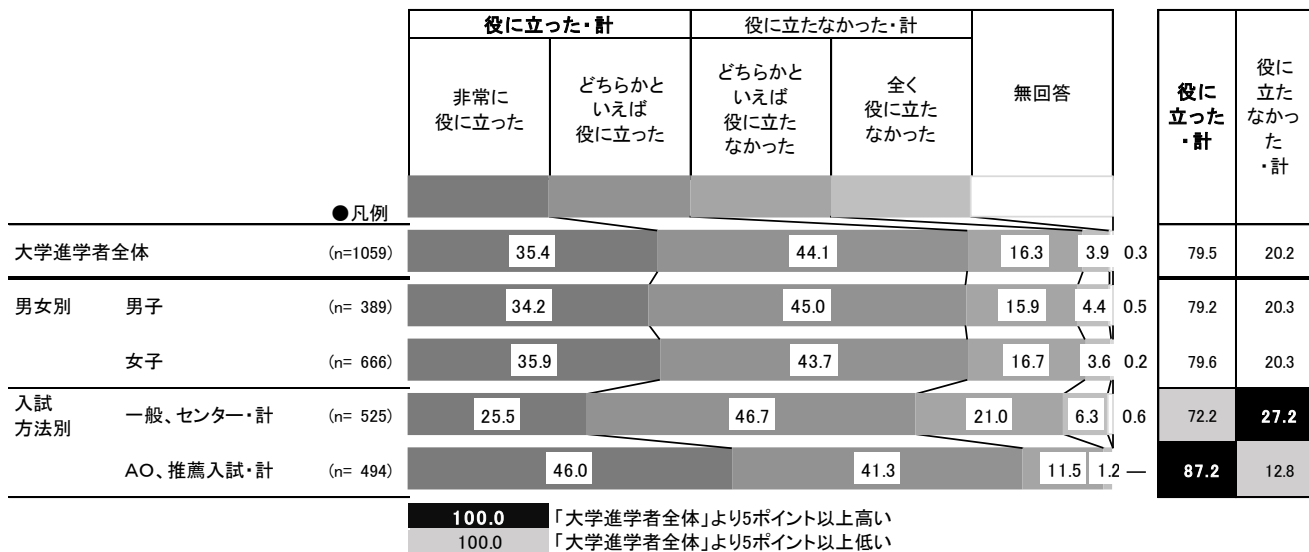
■ 「個別大学について調べたことがある」高校生のうち、80%が「志望検討時」にアドミッション・ポリシーは役立ったと回答（高校教員「進路指導で活用」は57%）

- ・入試方法別にみると、AO・推薦層（87.2%）が一般・センター層（72.2%）を15.0ポイント上回っており、AO・推薦層のほうが役立ち度はより高い。

■ 志望検討時の「アドミッション・ポリシー」役立ち度

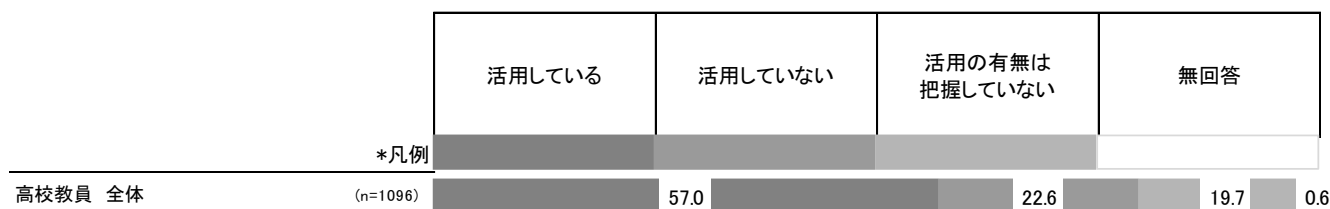
（大学進学者のうち「名前も意味も知っており、個別大学について調べたことがある」者／単一回答）

(%)



※参考）高校教員「アドミッション・ポリシー」の進路指導への活用（「アドミッション・ポリシー」認知者のみ／単一回答）

(%)



※リクルート進学総研「高校教育改革に関する調査2018」より

■ 進学関連情報で最も知りたかったことは「学校で勉強できる内容」

・知りたかったことトップは「学校で勉強できる内容」(76.2%)、次いで「入試の方法や難易度」(62.9%)、「キャンパスの雰囲気」(53.9%)。

■ 『認知』が8割を超えた「学校のアドミッション・ポリシー」について知りたいと回答した高校生は14%。認知度とのかい離が大きい

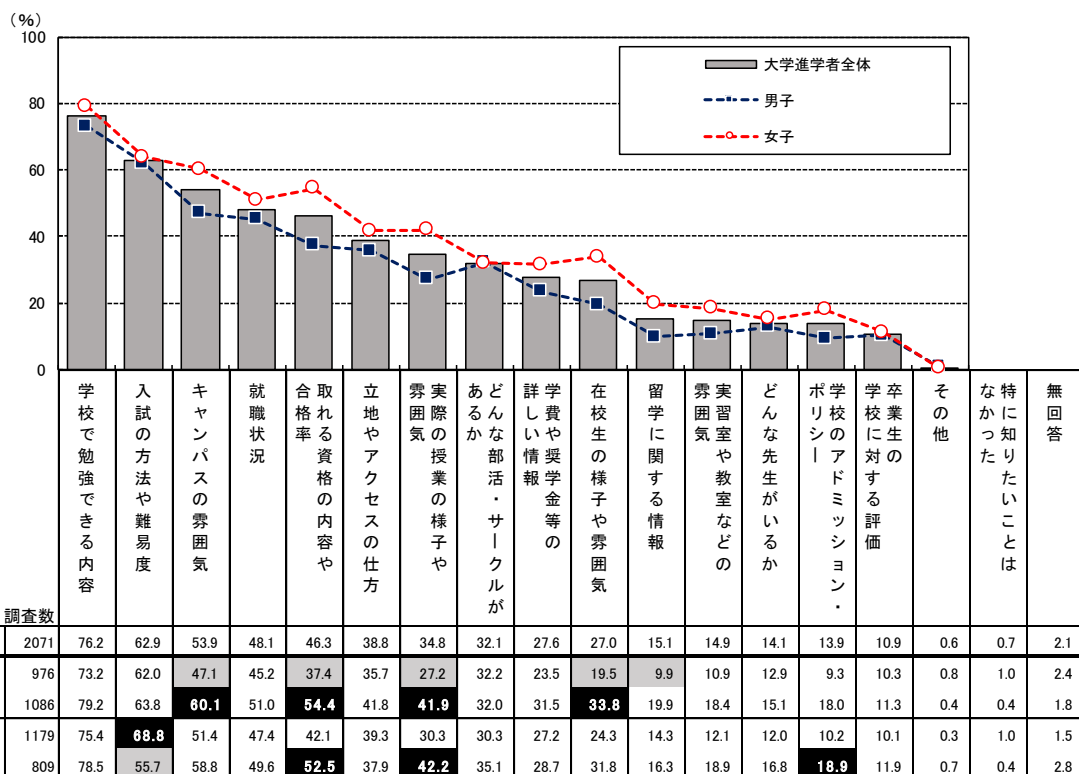
・「学校のアドミッション・ポリシー」を選択した高校生について、入試方法別にみると、AO・推薦層は全体より5ポイント以上高い。

■ 特に「キャンパスの雰囲気」「取れる資格の内容や合格率」「実際の授業の様子や雰囲気」「在校生の様子や雰囲気」「留学に関する情報」について女子が男子を上回る

・男女別にみると、15項目中14項目で女子が上回っているが、以下5項目について女子が男子を10ポイント以上上回った。

	女子	>	男子	女子-男子
「キャンパスの雰囲気」	60.1%		47.1%	(+13.0)
「取れる資格の内容や合格率」	54.4%		37.4%	(+17.0)
「実際の授業の様子や雰囲気」	41.9%		27.2%	(+14.7)
「在校生の様子や雰囲気」	33.8%		19.5%	(+14.3)
「留学に関する情報」	19.9%		9.9%	(+10.0)

■ 進学関連情報で知りたかったこと(大学進学者/複数回答)



100.0 「大学進学者全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「大学進学者全体」より5ポイント以上低い

※項目ごとに「大学進学者全体」の降順ソート